

## 3月13日に内覧会を行います

加賀市医療センター内覧会開催のご案内

4月1日の開院(外来診療は4月4日(月)から)に先立ちまして、完成内覧会を開催します。  
皆様のご来場をお待ちしています。

**内覧会日程** 平成28年3月13日(日) 午前9時～午後4時

当日は正面玄関よりお入りください。お車でお越しの方は加賀温泉駅前交差点から入り、係員の誘導に従って駐車してください。  
事前予約は必要ありません。直接ご来場ください。

## 加賀市医療センター開院前後、診療制限を行います

加賀市医療センター開院前後、加賀市民病院及び山中温泉医療センターの移転作業のため、各病院の一般外来・救急外来診療を下記のとおり制限させていただきます。

市民の皆様や関係者の皆様にはご不便とご迷惑をおかけしますが、何とぞご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

- 一般外来休診期間：平成28年3月29日(火)～4月3日(日)
- 一般外来診療制限期間：平成28年4月4日(月)～4月8日(金)(予約診療の制限)
- 救急外来診療制限期間：平成28年3月29日(火)～4月1日(金) ※3月31日(木)山中温泉医療センター救急外来休診

病院 月	旧病院											加賀市医療センター														
	3月											4月														
日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
外来	加賀市民病院	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	◇	◇	◇	◇	◇	×	×	○
	山中温泉医療センター	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	◇	◇	◇	◇	◇	×	×	○
救急	加賀市民病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	山中温泉医療センター	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

凡例：○通常通り △制限あり ×休診 ◇予約診療の制限

開院日

**連絡先** 加賀市民病院 TEL:0761-72-2100 FAX:0761-72-0271 e-mail:soumu@city.kaga.lg.jp  
山中温泉医療センター TEL:0761-78-0301 FAX:0761-78-5234 e-mail:yamanakahosp@city.kaga.lg.jp

## ボランティア募集

窓口 加賀市民病院 総務課 人事係 〒922-8522 石川県加賀市大聖寺八間道65  
Tel:0761-73-5808 Fax:0761-73-0547 E-mail:soumu@city.kaga.lg.jp

加賀市医療センターでは、ボランティアを募集しています。意欲のある方であればどなたでも結構です。  
希望される方は上記の窓口までご連絡ください。

**活動時間** 午前7時45分から午後5時15分の間で、ご希望される時間(土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12月28日～1月3日)を除く)  
来ていただける日と時間帯については、ご相談ください。

- 活動内容**
- 病院内施設のご案内 ● 車いす移送 ● 車いす清掃 ● 入院される患者さんの病室へのご案内
  - 再来受付機、自動支払機の説明 ● 病院建物周囲の清掃 ● 患者さんの身の回りのお世話 など

## 新病院のホームページができました

加賀市医療センターのホームページができました。  
以下のアドレスで公開しています。

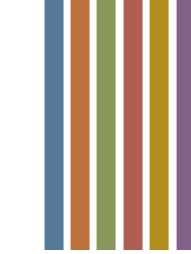
<http://www.kagacityhp.jp/kmc/>

※平成28年3月31日までは準備ページとなります。



**加賀市医療センター**  
Kaga Medical Center  
〒922-8522 石川県加賀市作見町136番地  
TEL 0761-72-1188 (平成28年4月1日開通)

発行：平成28年2月1日



# Vol.3

[平成28年2月]

# 加賀市 医療 センター

Kaga Medical Center

通信

平成28年4月に誕生する  
「加賀市医療センター」に関する  
詳しい情報をお知らせいたします。

特集  
対談  
加賀市医師会  
×  
加賀市医療センター



加賀市医療センターのシンボルマークが決まりました

多数の一般公募の中から最優秀賞を受賞した、  
庄小学校5年生 宮西里菜さんの作品をもとにデザインしています。

# 地域医療における 加賀市医師会と 加賀市医療センターの 「役割」と「展望」

## 市民と実現したい「医療の地産地消」

加賀市医師会 会長 **松下 重人** 先生 × 加賀市民病院 病院長 (加賀市医療センター 病院長就任予定) **小橋 一功** 先生  
 まつ した しげ と こ ばし かず のり  
 聞き手 山中温泉医療センター 看護部長 **川崎 靖子** さん  
 か わ さ き や す こ

**川崎看護部長(以下、川崎)** 高齢化社会を迎え、病診連携(病院と診療所が役割分担して協力・連携すること)の必要性がますます高まるとは思いますが、加賀市の現状はいかがでしょうか。

**松下会長(以下、松下)** 診療所に重症の患者さんが来られた場合、加賀市民病院や山中温泉医療センターにお願いすることが多いのですが、施設の特性から日中の受け入れが難しい場合もありました。

**小橋病院長(以下、小橋)** 加賀市民病院では制約上、すべての救急患者さんを引き受けることは難しい状態でした。ただ、内科や脳神経外科の慢性疾患では診療所との

連携はうまくいっています。今回の統合によって人員が増えますので、内科・外科2名の医師で救急の受け入れができるようになります。

**川崎** 慢性疾患を持った高齢者の場合、容態が急変して救急の処置を受けた後、転院するという場面でも加賀市医療センターの役割が重要になりますね。

**小橋** やはり患者さんやご家族の住まいに近い病院との連携を密にしていかなければなりません。特におおむね85歳以上の高齢者などは通院の移動が大変ですから、地域でのサポートが重要になります。

**松下** 慢性期になると患者さんの診療や療養生活に対する要望も出てきますから、意向を尊重しながら柔軟に対応する必要がありますね。

**川崎** 加賀市民病院では診療所との連携はどのようになさっていますか。

**小橋** 患者さんには通院しやすい「かかりつけ医」を持つことを提案しています。しかし、高齢者は複数の病気をお持ちで、いろいろな診療科が回れる病院の方が便利だから

と、地域の診療所に戻っていただけないこともあります。大きな病院と開業医の役割分担について、市民の皆さんにもご理解いただけるとありがたいですね。

**川崎** 加賀市では病院の地域医療連携室を介して患者さんを紹介したり受け入れたりするネットワークが構築され、2014年7月から医療情報共有システム「IDリンク」も稼動しました。診療所にとってのメリットは?

**松下** 現状、IDリンクは双方向ではないため、診療所側が病院の情報を「見る」のが中心です。将来的には情報や意見の交換がタイムリーに行えるようになるということなので期待しています。診療所の役割は、患者さんの体調を管理することです。適切なタイミングで検査を行ったり、体調が急変した場合に病院に紹介したりすることができるよう、かかりつけ医として患者さんと信頼関係を築くよう心がけ、その上で情報システムを利用するとよいと思います。医師会ではかかりつけ医としての開業医のスキルアップに努めており、幅広い診療の実現を目指しています。

**小橋** 今はIDリンクで検査・画像・処方などの3種類のデータを提供していますが、2016年4月からは画像データの所見も提供し、さらに将来は退院サマリー\*やカルテの一部も見られるようにする計画です。

**松下** それがスタートすれば、たいへん有益なものになりますね。

**川崎** 医師会の先生方は、日曜・祝日に加賀市民病院内で軽度の救急患者さんを診ておられ、患者さんの安心感が高まってい



はなく退院後の介護や福祉など、生活全般にわたる気配りについても病院が中心になってやっていただけたらと思います。

**小橋** 入院をきっかけに介護が必要になったり、介護度が上がったりすることも往々にしてあります。急性期を担う病院にとって必要以上の長期の入院は経営に大きく影響する時代ですので、市のこころまちセンターサブセンターの力もお借りして、病院と診療所の役割分担をしっかりと進めていければと思います。ケアマネジャーの資格を持った人材にも加わっていただき、病院から介護施設や療養型病院への橋渡しが行える体制を早急に整えたいと考えています。

と思います。その点で病院と医師会の連携が取れているように思いますが、先生方はどのように感じていらっしゃいますか。

**小橋** 医師会の「休日急病診療」によって、病院の勤務医はとても助かっています。医師会の先生に軽度の救急患者さんを診ていただけると、病院の勤務医は救急で搬送されてくる比較的軽度の患者さんの治療に専念できます。また、軽度の救急だと思われた患者さんでも、重度だということがわかれればすぐに病院の医師が引き受けられるわけですから、患者さんも安心です。新しい加賀市医療センターになってからもご協力いただけたらということですので、ありがたく思っています。

**松下** 「休日急病診療」は以前の輪番制の当番医の代わりに行っているものです。病院で実施するのですぐに検査ができるというメリットがあり、よりの確な診療を提供できます。感染症が流行する時期や大型連休、年末年始などは特に患者さんのお役に立てているのではないかと自負していますし、病院と診療所の役割分担という点でも理想的だと思います。

**川崎** いよいよ4月にオープンする加賀市医療センターへの市民の期待は大きいものがあると思います。「地域連携センターつむぎ」によって地域連携も強化されますし、介護相談の窓口となる、市こころまちセンターのサブセンターもできますね。

**松下** 加賀市医療センターさんには、まさに加賀市の医療の中心としての機能を期待しています。高齢の患者さんは急性期を過ぎても完治は望みにくいですから、医療だけで



加賀市医師会 会長  
松下 重人 先生

持って医療機関を利用していただきたいです。例えば、日ごろ元気な若い人が、夜中に高熱が出たからとインフルエンザを心配して受診しても、あまり意味がありません。発熱直後は陽性反応が出ないのです。よほどのことがなければ、まずはひと晩、様子を見るようお願いします。真に急を要する患者さんや、その方々を診る医療従事者に配慮していただけると助かります。

**小橋** 新しい加賀市医療センターの使命は、市民の安全・安心を守ることです。循環器系の急性疾患など、命に関わる分野を中心に、多くの疾患に対応できるよう、医師の充実を図ります。また、加賀市の人口減少が進む中、市民がほかの地域の医療機関に流れると、加賀市の医療はますます弱体化し、結果的に市民の皆さん自身が困る事態になりかねません。「医療も地産地消」だということをご理解いただき、できるだけ市内の医療機関をご利用いただけるよう、お願い申し上げます。

**川崎** 医療提供者と市民のそれぞれがお互いを気づかい、育て合い、高め合うことが大切なのですね。その拠点となる加賀市医療センターのために私たちが力を尽くしたいと思います。本日はありがとうございました。

**松下** 確かに難しい問題ですね。体調の変化の裏には思わぬ病気が隠れている場合もあるわけですし、とくに高齢の方は、さぞ不安になることでしょう。そんな時に、それぞれの立場でいかに配慮し合うかが大切になってくるのではないのでしょうか。

**川崎** それでは最後に市民の皆さんへのメッセージをお願いします。

**松下** 市民の皆さんには、節度を

